

D．繰延税金資産の回収可能性

繰延税金資産は将来減算一時差異、税務上の繰越欠損金及び繰越税額控除のうち、将来課税所得に対して利用できる可能性が高く税金負担額を軽減することができると認められる範囲内で計上しております。また、繰延税金資産は每期見直しており、将来減算一時差異、税務上の繰越欠損金及び繰越税額控除の全部又は一部が将来の税金負担額を軽減する効果を有さなくなったと判断した場合、計上していた繰延税金資産のうち回収可能性がない金額を取り崩しております。

E．資産除去債務

資産除去債務の計上基準は、「第5 経理の状況 1 連結財務諸表等 (1) 連結財務諸表 注記事項(資産除去債務関係)」をご参照ください。

当連結会計年度の経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容

A．経営成績等の分析

2021年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画の2023年3月期の状況は以下のとおりです。

当連結会計年度のセグメントごとの経営成績は、「3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 (1) 経営成績等の状況の概要 財政状態及び経営成績の状況」に記載のとおりです。

なお、当連結会計年度の売上高については、43,209百万円(計画比2.9%増)となりました。利益について営業利益は3,573百万円(同69.7%増)、経常利益は3,534百万円(同64.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,874百万円(同64.8%増)となりました。

ROEは、計画比2.8ポイント増の7.5%となりました。

指標	2023年3月期(計画)	2023年3月期(実績)	2023年3月期(計画比)
売上高	41,991百万円	43,209百万円	2.9%増
営業利益	2,105百万円	3,573百万円	69.7%増
経常利益	2,155百万円	3,534百万円	64.0%増
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,137百万円	1,874百万円	64.8%増
ROE(自己資本利益率)	4.7%	7.5%	2.8ポイント増

(注) 2023年3月期(計画)には、2022年5月13日に発表いたしました業績予想を記載しております。なお、業績予想の修正を2022年10月28日及び2023年1月30日に発表しております。